



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 781 人

医 師 163 人

コメディカル 618 人

【管理栄養士紹介登録数 40人】

平成21年1月20日現在

《目 次》

西東京臨床糖尿病研究会次世代育成プロジェクトに御協力を！

大野 敦 先生……………Page 1

投稿コラム 和田 幹子先生……………Page 2

研究会の実施報告……………Page 3

研究会のお知らせ他……………Page 4

「西東京臨床糖尿病研究会次世代育成プロジェクト」に御協力を！

当研究会理事 東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科

大野 敦

昨年の理事会で、「西東京臨床糖尿病研究会次世代育成プロジェクト事業」の担当理事に任命されました八王子医療センターの大野と申します。活動開始が年明けになりましたが、御協力のほどお願い申し上げます。

私が八王子医療センターに赴任してから15年になりますが、当初「例会」が中心であった当研究会の活動は、現在5つの直接事業、16の間接事業、3つの情報提供・支援事業と拡大を続けております。ここ2～3年では、「西東京糖尿病運動指導体験セミナー」と「西東京糖尿病心理と医療研究会」が新事業として立ち上がっています。このような状況の中で、私も色々な会の幹事や世話人を担当し、毎週のように顔を合わせる当研究会のメンバーも少なくありません。ただ以前より気になっていたのは、いつも同じ顔ぶれで活動を企画していることで、各施設のリーダーに続く世代の顔が見えないことでした。すなわち、各医療機関で実務の中心を担っている世代の医療スタッフが、当研究会の活動をどのように考えて、どの程度参加されているのかが、ほとんど分からない状況にあります。このことは、医師だけでなく、すべての職種に言えることと思います。忙しい日常臨床の中で、平日の夜間や土・日曜日に実施されている各事業に対して、会員一人一人の関わり方は異なります。現在世話人を務める会員も、はじめは参加者の立場で会に関わり、徐々に会をサポートする立場に変わり、そしてその面白さにはまっていったのではないのでしょうか。従って今後当研究会の将来を考えますと、その面白さをいかに伝えていくかが求められており、そこに今回の次世代育成プロジェクト事業のポイントがあると考えています。

以上のような経緯のもとに、今年度プロジェクト事業の一環として会員の皆様を対象としたシンポジウムの開催を予定しております。そのための準備として、まずは皆様の当研究会への関わり方に関するアンケート調査を行い、それに基づいてワーキンググループを立ち上げます。そこで今回、この会報にアンケート用紙を同封させて頂きましたので、御回答・御返送をよろしくお願い申し上げます。なお紙面の関係で、記入スペースの不十分な項目もあります。今後当研究会が、次世代育成のために新たな活動を展開するとした場合に、どのような事業を行うべきであるのか、また次世代の育成という観点から考えて、現在の当研究会の抱えている問題点、修正すべき点、今後に期待することなど、自由な御意見をメールでお聞かせ頂ければ幸いです【E-mail : ohno@tokyo-med. ac. jp】。

アンケートへのご協力をお願いいたします

巻頭ページに紹介されました、当会の新しい活動事業「西東京臨床糖尿病研究会次世代育成プロジェクト」の立ち上げに際し、会員の皆様にアンケートのご協力をお願い申し上げます。同封のアンケートに御回答のうえ、**2月15日（日）**までに当会事務局までFAXにてご送信ください。皆様のご協力をお待ちしております。



コラム「ちょっと寄り道～横浜編～」

当会評議員 けいゆう病院 和田 幹子

2009年1月18日（日）、中華街にほど近い「横浜情報文化センター」にて開催されたヤング1型糖尿病セミナー“YOKOHAMA VOX”に参加しました。“YOKOHAMA VOX”は、大阪で年3回開催されている“DM VOX（医療現場でも孤立しがちなヤング糖尿病患者さんが、ひとりでも気軽に参加できる空間作りをという趣旨で発案され、peer counselingの場として多くのヤング1型糖尿病患者さんに支持されている）”に参加した方々から当地での設立希望があり、2007年にスタートしました。

今回で4回目の“YOKOHAMA VOX”には、神奈川県内の医療施設に通院されている患者さんを中心に137名の参加がありました。プログラムの前半は、岡田朗先生（福岡市：岡田内科クリニック院長）の「患者さんに伝えたいこと、患者さんから学んだこと」というテーマの講演でした。先生が32年間参加されているサマーキャンプ（福岡ヤングホークス）の映像を見せていただきました。また、血糖を連続的且つ自動的に測るCGMS（携行グルコースモニターシステム）の話題や、①医者を選ぶのも寿命のうち（ダメな医者はすぐ変わるべし）②仲間づくりが大切③やりたいことはすぐやる④いーかげんもだいじ（いつも真面目ではもたない）というお話がありました。先生の温かみのある楽しいお話が、参加者の勇気になったと感じた時間でした。プログラムの後半は、「ポンプ療法」「血糖コントロールのコツ」「妊娠と出産」などのグループに分かれて、ディスカッションを行いました。先月発症した方から、発症後30年以上の方まで、希望するテーマのグループで和気藹々と語り合うことで、本音トークや日常生活での工夫点などに花が咲いたようです。

“YOKOHAMA VOX”を通して、発症後間もない方は、（医療者より説得力がある）“先輩”“の話を聞くことで、少しずつ病気を受け入れ、治療のコツをつかんでいくようです。また、ベテランの“先輩”は、新しい知識を得たり、普段の血糖コントロールを振り返る場として、とても有意義な機会となっているようです。

次回、第5回“YOKOHAMA VOX”は、かながわ労働プラザで、7月20日（海の日）の午後開催されます（http://www.geocities.jp/yokohama_vox/）。北海道大学の吉岡成人先生のご講演や、1型糖尿病の患者さんの体験談、グループディスカッションを予定しています。日頃、1型糖尿病患者さんと関わっている医療スタッフのみなさまから、ヤングの患者さんにこの会の存在について声をかけていただけたらと思います。また、患者さん一人での参加が難しい場合には、スタッフが一緒に参加しても構いません。これまでに、西東京の医療施設に通院されている患者さんや医療スタッフの参加も複数ありますので、この機会に是非、風光明媚な横浜まで足をお運びいただければ幸いです。





研修会等の実施報告

第2回 糖尿病運動体験セミナー参加者アンケート集計結果

平成20年9月20日～21日（一泊二日）にて開催された第2回糖尿病運動体験セミナーの参加者アンケートを集計しました。

第2回 糖尿病運動体験セミナー 参加者アンケート集計結果（一部抜粋）

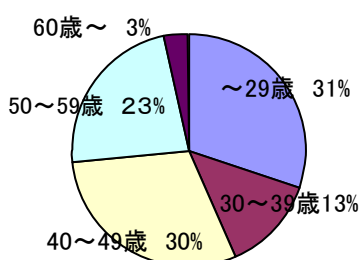
参加人数 32名 回収人数 30名 回収率 94%

1. 参加者属性について

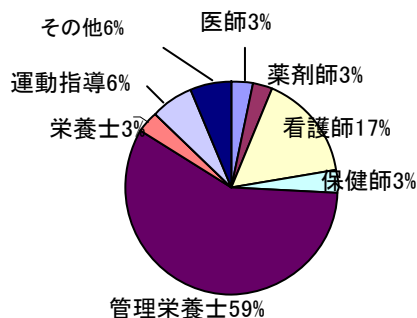
性別

男性	女性
3	27

年齢



職種



年齢

～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
9	4	9	7	1

職種（有効回答28人）

医師	薬剤師	看護師	保健師	管理栄養士	栄養士	臨床技師	運動指導	その他
1	1	5	1	18	1	0	2	2

2. 現在糖尿病運動療法で困っていること

- ・小さいクリニック等で道具も人材もないところでやれる指導を教えて欲しい。
- ・運動が適切であるかの評価（他覚的な）がむずかしい点。
- ・教室の開き方（場の確保や時間設定、募集人員など）がわからない。
- ・仕事が忙しくて時間をとることが出来ない人への運動（減量）指導。
- ・実践指導の設備が整っていない。
- ・高齢者や運動嫌いな人への指導が難しい。

3. 運動体験セミナーについての感想や要望など

- ・とても楽しい、意味深い体験だった。
- ・とても内容が濃く、実践で使えることをたくさん学べた。
- ・新しい情報、取り組み方法を多く学ぶことが出来た。
- ・1つの講義の時間がもう少し長い方が良い。
- ・自分の勉強不足で話についていけないことが多かったが、このセミナーをきっかけに運動について勉強したいと思った。
- ・体と頭を使ってとても楽しく運動でき充実したセミナーでした。





研究会他のお知らせ

◆ 直接事業 ◆ 間接事業

- ◆ **第21回 東糖協多摩ブロック糖尿病教室（お申し込みは不要です。）**
 テーマ：「糖尿病患者さんの心配にお答えします」
 開催日：平成21年2月7日（土）14:00～16:00
 場 所：福生市民会館小ホール（つつじホール）（JR青梅線牛浜駅東口より徒歩5分）
 参加費：無料（どなたでもご参加いただけます。）
 問合せ：（社）日本糖尿病協会東京支部（東京都糖尿病協会事務局）
 ☎03-3373-0768

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

★日本医師会生涯教育講座（5単位）認定予定



- ◆ **第6回 西東京インスリン治療研究会（お申し込みは不要です。）**
 テーマ：「1型糖尿病（劇症を含む）」
 開催日：平成21年2月28日（土）16:00～19:30
 参加費：医師1000円 医師以外無料
 場 所：ザ・クレストホテル立川「桜の間」（JR立川駅南口より徒歩7分）

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位申請中

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：1単位申請中

- ◆ **第5回 西東京糖尿病心理と医療研究会ワークショップ（お申し込みが必要です。）**
 第Ⅰ部講演：「糖尿病療養支援におけるナラティブアプローチ」
 第Ⅱ部講演：「糖尿病劇場 患者面接一心にアプローチ」
 開催日：平成21年3月21日（土）14:45～18:30
 場 所：武蔵野スイングホール（JR中央線武蔵境駅北口下車すぐ）
 参加費：2000円
 申込み：当会ホームページより申込書をダウンロードのうえFAXにてお申込み下さい。

FAX番号042-362-1602

宛先：ノボノルディスクファーマ(株) 担当：八田・井上

問合せ：ノボノルディスクファーマ(株) 八田（042-362-1601）

★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位申請中

★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：1単位申請中



事務局からのお知らせ

◎2008年度年会費のお支払いについて

お蔭様で当研究会では地域糖尿病医療の拡充と質の向上に向け順調に活動を続けております。これも一重に会員の皆様のご協力のおかげと大変感謝しております。毎年年度初めに当年度の会費3000円を頂戴することになっておりますが、今年度分の会費につきましてまだご入金のご確認がとれていない会員の皆様にお振込用紙を同封させていただきました。恐れ入りますが2月末日までにご入金いただきますようお願い申し上げます。当会の活動は会員の皆様からの会費を元に成り立っております。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリントプラザ 402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

